

みんなで
考えよう
人権・同和問題
No. 220

このコーナーでは、隔月のシリーズで掲載
しています。これを手がかりに、家庭で人権・
同和問題について話し合ってみましょう。

申年に人権を考える

もし、類人猿にも『人権』
が認められたら、あなたはどう
のように感じますか。

1年ほど前のアルゼンチン
での出来事です。動物愛護団
体が、「動物園で飼われている
オランウータンが違法に自由
を奪われている」として解放
を求めた裁判で、驚きの判決
が下されました。それは、「オ
ランウータンの人権を認め、
解放を命じる」というもので
した。

裁判の対象となったのは、
『サンドラ』という名の雌のオ

ランウータン。裁判官3人は、
全員一致で「法的には人間と
同等の権利があり、自由を享
受できる」と結論づけました。

一方、アメリカでもチンパン
ジーの解放を求める訴訟があ
りましたが、「人間のように法
的義務や社会的責任を果たせ
ないため、人権は認められず、
解放する必要はない」という
判決が出されています。これ
らの論争は、現在も続いてい
るようです。

さて、『人権』とはいったい
何でしょうか。法務省の啓発
冊子『人権の擁護』には、『人
権とは「すべての人々が生命
と自由を確保し、それぞれの

幸福を追求する権利」、あるいは
「人間が人間らしく生きる
権利で、生まれながらに持つ
権利」であり、誰にとつても
身近で大切なもの、日常の思
いやりの心によって守られる
もの」と紹介されています。

これまで多くの人が、人権
とは何かをさまざまに表現を
用いて説明していますが、最
も簡潔なのは、ジャーナリ
ストの稲積謙次郎さんの言葉
『私もハッピー、あなたもハッ
ッピー』ではないでしょうか。
自分だけでなく、他人の尊厳
も大切にすることの重要性が、
身近な言葉で快活に表現され
ています。

新たな年を迎えました。誰
もがハッピーだと感じられる
1年となるよう、この機会に
あなたも人権について考える
ことから始めてみませんか。

中国大連市の中日友好協会が伊万里を訪問

11月26日、中国大連市の中
日友好協会（于建軍団長ほか
26人）が、友好交流28年目を
迎えた伊万里市と大連市の親
交をさらに深めるため、市内
を訪れました。

同協会一行は、市役所での
歓待セレモニーのあと、グルー

プ別に大川内山の窯元や、市
内の農園、小学校、介護施設
などを視察。東山代町のパプ
リカ農園（株式会社アースマ
インド伊万里）では、訪れた
団員が、起業した経緯や栽培
方法などについて、熱心に質
問していました。



↑訪問団員に、パプリカの栽培方法を説明する中倉社長（右端）

郷土の文化財

伊万里・鍋島ギャラリー所蔵 初期鍋島特集③

●問合先 生涯学習課文化財係

(☎) 23 3186

色絵唐花文皿

鍋島焼は、江戸時代に佐
賀藩鍋島家が將軍への献上
や、幕閣・大名・公家への
贈答のために特別あつらえ
で作っていた最高級磁器で
す。製作するにあたっては、
大きさや形状、使用する色
などに厳密な規格がありま
した。ただし、この規格が
厳しくなるのは『盛期鍋島』
（1690年代以降）から
で、『初期鍋島』（1650
〜1680年代）と呼ばれ
る作品は、大きさにばらつ
きがあつたり、色の濃淡に
むらがあつたりしてい
て、規制は比較的に緩
やかだつたようです。

写真（下）の作品は、
1660〜1670年
代に作られた『色絵唐
花文皿』です。皿の縁
が外に向かつて反つて
おり、鍋島焼の中では



『色絵唐花文皿』

数少ない形状です。また、
内面は黄・赤・緑の上絵だ
けで唐花文を五方に配し、
唐草でつないでいます。唐
花と唐草の輪郭線は、すべ
て赤絵で描かれており、そ
の描き方はやや自由な印象
を受けます。
この皿は、染付を用いて
いない、きわめて珍しい作
品です。鍋島焼の規格性に
合わない点が多いことか
ら、藩の規制が厳しくなる
以前の作品であると考えら
れます。